



兵庫県立
人と自然の博物館の
先生によるコラムだよ!

最終回

ヘンな植物 タンポポ

タンポポは何年も生きる多年草です。春の終わりに綿毛を飛ばしたあと、夏も秋も冬も、タンポポは同じ場所に生えています。でも、花をつけていないタンポポがどんな姿か、じっくり見たことがある人は少ないでしょう。

ゴールデンウィークの終わりごろ、生長してきたほかの雑草にタンポポは覆われてしまいます。夏の間、タンポポは葉をほとんど落としてしまいます。地上部は小さ

な葉が数枚ある程度です。

ほかの雑草が枯れた秋の終わりごろから、タンポポは青々とした新葉を伸ばします。タンポポは寒い時期に元気になる植物なのです。12月ごろには寒さのために葉が赤っぽくなりますが、葉は残したままです。春先、新たに青々とした新葉を伸ばし、しばらくすると花をつけ始めます。

夏に葉をつけず、冬に元気なタンポポ。何だか変な植物ですが、ほかの植物との競争を避けてきたたかに生きています。

兵庫県立人と自然の博物館 研究員 京極大助



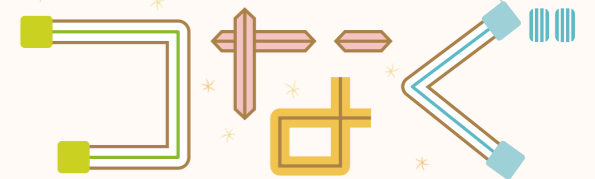
冬のタンポポ
(2024年12月三田市深田公園で撮影)。
10株以上のタンポポが写っています。

あらゆる人と共に…



2月号
2025
vol.182

三田市議会だより



一般質問\12月定例会の結果\決算審査\議会報告会の開催\会派要望



福うち
あはれ



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

声の議会だより

配信中!



「音訳ボランティア ともしび」の皆さまのご協力により、「三田市議会だより つなぐ」を音声化した「声の議会だより つなぐ」を、市ホームページで配信しています。ぜひご利用ください。

右記二次元コードからご利用いただけます。



※音声を聞くためには、MP3を再生するソフトが必要です。

次回の
市政相談は 4月1日(火)です。

* やむを得ず日程が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

【相談場所】 市役所6階 委員会室
【相談時間】 午後1時から午後4時まで
1件につき50分
【申し込み】 3月25日(火)までに申込書を
議会事務局まで

3月定例会は2月18日に開会予定です

2/18(火)	10:00~	本会議
2/19(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
2/20(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
2/21(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
2/26(水)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和6年度補正予算)
3/ 5(水)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)
3/ 6(木)	10:00~	本会議 一般質問(代表質問)、委員会審査報告・質疑・討論・表決(令和6年度関連議案)
3/10(月)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和7年度予算審査)
3/11(火)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和7年度予算審査)
3/12(水)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和7年度予算審査)
3/13(木)	9:20~	予算決算常任委員会 総括質疑(令和7年度予算審査)
3/14(金)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和7年度予算)
3/21(金)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

* 上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

表紙紹介 三田の節分は「鬼は内」

江戸時代に三田藩を治めた領主である九鬼家の名前には「鬼」が入っているため、「鬼は外」というと、お殿様を追い出すという意味になりかねないことから、三田では「鬼は内、福は内」というようになったとされています。

三田市在住のイラストレーター、
宮館みえりさんに描いていただきました。



三田市議会だより つなぐ 2025.2 vol.182

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

三田市
議会HP



広報委員会
【委員長】 肥後淳三 【副委員長】 水元サユミ
【委員】 坪之内幸司 福本愛 福田佳則 小山裕久

編集
後記

広報委員会は、10月の改選で新人議員も加わり、新たなメンバーでの議論が始まりました。市民の皆さまが楽しみにされていた、人と自然の博物館研究員の方々によるコラム「Caféひとはく」も今回号が最後となります。この紙面をお借りして感謝申し上げます。(肥後)



この広報紙は環境保護のため、
植物油インキを使用しています。

24議8-026A4

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube
本会議の録画
映像を公開し
ています。

Facebook
市議会の日程や
お知らせなどを投
稿しています。



質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

12月定例会では、13人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録 検索



三田市議会ユーチューブチャンネル 検索



※本会議の録画映像を公開しています。

山崎 丈 議員

市民とともに



教育環境

小学校の家庭科室にエアコンの設置を

議員 小中学校教室の空調設置率は100%となっている。しかし、小学校の家庭科室については、阪神間各市では100%を達成しているが、三田市は未達成である。「こどもを核としたまちづくり」を目指すのであれば、家庭科室の教育環境も早急に整備すべきでは。

使用頻度の高い学校から設置を検討

市 一定規模以上の学校では家庭科室の使用頻度が高く、また、近年の夏の酷暑の状況から、家庭科室への空調設置について学校施設・設備の改修における優先順位を見定めながら検討する。（鹿嶽教育長）

他の質問 ●公共交通について 他1件

村手 秀樹 議員

公明党



防災

中学校での地域防災訓練の必要性は

議員 令和7年には阪神・淡路大震災から30年を迎え、一説によると現在、地震の活動期に入ったともいわれている。いつ発生するか分からない地震に対し、指定避難所となる中学校での地域防災訓練及び避難所運営訓練の必要性について、市の見解を伺う。

地域と連携した防災訓練に向け働きかける

市 避難所となる学校施設での防災訓練は、生徒及び教職員の安全確保、防災意識の向上、地域連携の強化、避難所運営能力の向上、心理的な準備等の観点から重要であるため、地域団体や校長会等に訓練実施の働きかけを積極的に行う。（西田副市長）

他の質問 ●三田市の観光事業推進について 他1件



水元 サユミ 議員

日本共産党三田市議団



介護

介護保険制度利用における地域間格差の是正を

議員 ヘルパー不足の問題は以前からあるが、市の面積が広いと、地域によっては訪問介護やデイサービスの利用調整が難しい地域が存在している。市として地域間格差があることを認識しているか。また、格差の是正が必要と考えるが、市の見解を伺う。

利用者の状況把握に努め、対応を考えていく

市 介護サービス事業所が市南部とニュータウンに集中しており、地域資源としての地域間格差は認識している。サービスの安定的な提供に取り組みながら、農村部・山間部での利用者の状況把握に努め、対応を考えていく。（入江健康福祉部長）

他の質問 ●失語症者への支援事業について 他1件

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議団



社会教育

部活動の地域移行は保護者負担の軽減を

議員 部活動の地域移行の大きな懸念事項として、活動にかかる費用負担の増加がある。部活動は教育の一環であり、教育的意義や役割を引き継ぐのであれば、全額受益者負担ではなく誰でも公平に参加できるように保護者負担の軽減が必要では。

低廉な会費の設定等、その支援を検討していく

市 会費負担や活動場所への移動は、国が示す地域移行の方向性では受益者による負担が原則であるが、今後クラブ設置を進める中で、運営に必要な範囲で可能な限り低廉な会費の設定や、移動支援について検討していく。（鹿嶽教育長）

他の質問 ●有機フッ素化合物（PFAS）の汚染問題について 他1件

中田 哲 議員

さんの未来



社会教育

地域クラブ活動の指導者と信頼関係の構築を

議員 持続的に地域クラブを成り立たせるためには、子どもたちのために、思いや誇りを持って取り組まれる協会や団体などの地域の担い手の方々との信頼関係構築が不可欠であるが、どのように取り組んでいくのか。

引き続き丁寧な説明を行っていく

市 学校部活動の地域移行を混乱なく進めていくため、教職員、児童生徒、保護者、受け皿となる協会関係者等、地域移行に係る関係者に対し、丁寧な説明や情報開示に努めていく。具体的なスケジュールを示し、不安の解消と信頼関係の構築に努める。（鹿嶽教育長）

他の質問 ●不登校支援について 他2件



佐貫 尚子 議員
さんの未来



終活支援 終活の周知啓発と今後の支援体制は

議員 安心して最後を迎えることができるよう、市民自身が終活に取り組みやすくするため、終活の意味やメリット等の周知啓発が必要では。また、相談窓口の設置や混乱なく万一に備える終活情報登録制度を導入すべきでは。

周知啓発と支援体制の充実に努める

市 終活セミナーやエンディングノートの活用等、自身で終活に取り組めるよう、高齢者に限らず周知啓発に努める。支援体制については、地域包括支援センターにおける相談支援の充実とフォロー体制強化を図る。また、終活情報登録制度は、他市を参考に研究課題としたい。(西田副市長)

他の質問 ●都市公園の指定管理者が行う業務について 他1件

大西 憲司 議員
市民とともに



子育て支援 長期休暇中の放課後児童クラブでの昼食提供は

議員 核家族化が進み、共働きや一人親世帯が増えている中で、仕事と子育ての両立をしやすい環境づくりは非常に重要である。特に、長期休暇中に保護者がお弁当をつくる負担は大きく、放課後クラブでの昼食に民間事業者による宅配弁当の提供を進めては。

早期実現に向け、取組を進める

市 アンケート調査の結果、昼食の提供を利用したいとの回答が約8割あった。民間事業者の活用も検討しているが、子どもたちへ安全・確実に手渡す体制や人員等の課題もある。試験的实施も含め、早期実現に向け取組を進める。(松本子ども・未来部長)

他の質問 ●地域再生における空き家に関して 他2件

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



市民病院 市民負担が増える中で、再編統合は撤回を

議員 これまでも再編統合による問題点を指摘してきたが、現在の物価や建設費の高騰は当初の想定をはるかに超える状況になっており、市民負担が増える中で再編統合を進めるべきではないと考えるが、市の見解を伺う。

地域医療を守り抜く覚悟、強い信念で「再編統合」を推進

市 このままでは将来にわたって急性期医療を維持・継続していくことは困難な状況である。地域の急性期医療を確保するためには、再編統合による新病院の整備が唯一の方策であるとの結論はなんら変わることはなく、再編統合を推進していく。(田村市長)

橋本 維文 議員
市民とともに



人材確保 市民サービス向上のための市職員の確保は

議員 生産年齢人口の減少による公務員のなり手不足や、今後発生する大量退職者に対応し、持続的に行政サービスの向上を図るためには、技術職や中途採用者の人材確保が喫緊の課題である。人材確保に向けた取組について、市の見解を伺う。

人材確保に向けた職場環境整備に取り組む

市 技術職の応募者が減少傾向であるため、学生を対象とした修学資金の貸与、募集人数枠を撤廃した採用の実施等、積極的に技術職の採用を進める。加えて、即戦力になる中途採用者と他職員との格差解消、職場環境整備に取り組む。(西尾総務部長)

他の質問 ●地域活動の支援拡充について 他1件

大西 雅子 議員
公明党



公園管理 都市公園の適正管理に向けた取組は

議員 ニュータウン開発から30年以上が経過し、公園の樹木の太木化や駐車場の傷みが酷い状態であるが、役割を維持し、魅力ある公園とするには、公園マネジメント計画の策定が必要では。また、クラウドファンディングも活用してはどうか。

特性に応じた公園マネジメント実現に向け、研究する

市 大規模修繕は公園施設長寿命化計画に基づき実施しているが、太木化する園内植栽は、抜本的な維持管理方針の見直しが必要であり、民間活力や住民参加型の管理体制の構築等、特性に応じた公園マネジメントの実現に向け、他市のクラウドファンディングの取組も含め研究する。(田村市長)

他の質問 ●災害対策について 他1件

坪之内 幸司 議員
創志会



農業支援 認定農業者等の引き受け能力向上への取組は

議員 農業者の高齢化や農家の減少は、遊休農地増加や農地の多面的機能の維持に影響を与えるが、認定農業者等の担い手確保や育成、引き受け能力向上にかかる市の取組は。

経営基盤や技術向上への支援を強化する

市 認定農業者等が安定した経営を継続できるよう、県や関係機関と連携し、設備導入にかかる補助金の利用促進や技術の高度化のアドバイス等を行っている。今後、就農者確保に向けた就農フェアへの参画や市独自支援の充実を図るとともに、スマート農業の取組など経営基盤や技術向上の支援を強化し、引き受け能力向上を図る。(青野産業振興部長)

他の質問 ●不登校児童・生徒支援に関する三田市の取組について 他2件



假屋 浩司 議員
創志会



長谷川 良果 議員
日本維新の会 三田



移住定住 歴史的行事、伝統文化を
生かした移住定住政策を

議員 地域伝統文化の担い手不足や高齢化という課題があるが、市には百石踊りなど各神社を中心さまざまな伝統文化がある。市内外に向け、三田の魅力を発信していく中で、地域の伝統文化を魅力の一つとして多くの人に体験してもらえるよう、SNS等でPRしては。

歴史文化をSNSや市広報等で発信していく

市 地域の歴史的行事や伝統文化へふれる機会を「オーダーメイドさんだツアー」に組み込むことや、「さんだうえるかむサイト」、SNS等での発信を検討する。また、市広報等でも積極的に周知し、「さと」「まち」の地域間交流のきっかけづくりにも取り組む。

(田村市長)

他の質問 ●小・中学校の教育環境について
他1件

ふるさと納税 ふるさと納税の事業者
参画支援と市民協働広報を

議員 ふるさと納税寄附額の減少を踏まえ、返礼品の魅力向上や新規事業者の参入促進、市民を巻き込んだ広報活動について、市の見解を伺う。

参画しやすい環境づくりと魅力発信に努める

市 事業者への丁寧なヒアリングやサポートによる参画しやすい環境づくりに努め、商品構成の見直しや充実、返礼品開発奨励制度も検討する。また、市民を巻き込んだ広報には状況に応じた工夫や取組が必要で、ふるさと納税の用途拡大や具体的なメリットの提示も大事な視点である。今後もふるさと納税制度を積極的に活用し、三田の魅力発信に努める。

(田村市長)

他の質問 ●郷の音ホールの活性化について
他1件

伺います! **さんだ未来トーク**

市民の皆さまの多様な意見をより広く聴取するとともに、市議会について知っていただき、より身近に感じていただくことを目的とした意見交換会です。参加者（グループ）が希望する日時、場所、テーマ等で行います。

対象 市内在住・在勤・在学（高校生以上）で5人以上が参加できるグループ

日時 市議会開催期間等を除く5・7・8・10・11・1・2月の申し込みグループが希望する日時で調整します（90分間）

場所 申し込みグループが希望する市内の場所
※会場の確保等は、申し込みグループで行ってください

申込方法 申込書を市役所6階議事総務課窓口へ持参または郵送、ファクスで提出
※希望する日の20日前まで

申し込み方法等の詳細はこちらをご覧ください。



今まで開催したテーマはさまざま!

- 三田市民の24時間救急への存続ねがい
- 市民病院の統合問題について
- 循環型社会・持続可能な社会の実現に向けて
- 三田市ごみ行政に関する改善点について
- 自治会とまちづくり協議会について
- 地域の高齢者対策について など

議員と意見交換がしたい!

議会の取組を知りたい!



令和6年 12月定例会の結果
11月26日～12月20日（会期：25日間）

市長提出議案	24件
議員提出議案	4件
請願	1件
陳情	3件



全議員が賛成した議案

決算認定	令和5年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定 など決算認定案件5件
予算	一般会計補正予算（第6号） など予算案件6件
条例	市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正 など条例案件5件 放課後児童クラブの管理に係る指定管理者の指定 など事件決議4件 教育委員会委員の任命同意 人事案件1件
その他	市議会委員会条例の一部改正 など議員提出議案4件 「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を 求める意見書採択の請願 請願1件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案（福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません）

賛成：○ 反対：×

件名	創志会			さんだの未来			市民とともに			公明党		日本共産党 三田市議団		日本維新の会 三田		結果							
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎丈	大西憲司	大西雅子	福田佳則		村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果	
決算認定 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 認定
条例 市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
条例 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決	

賛否が分かれた議案

- 議案第83号 市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第87号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について



内容 第83号は、新病院建設基本設計・実施設計の事業者選定にかかる附属機関を設置するため条例の一部改正するもの、第87号は、福祉医療の資格認定における個人番号の利用にあたり条例の一部改正するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

議案第83号について、再編統合そのものに反対であり、施工期間、応札の見込み、建設費等の総事業費高騰による新病院基本計画の公表時期の延期や、市民病院の経営収支悪化が見込まれる中、多くの市民が不安や危機感を抱いているため、反対。
議案第87号について、情報漏えいのリスク等も含め行うべきではないため、反対。（日本共産党三田市議団 木村雅人）

賛成討論

議案第83号について、急性期幹幹病院として将来にわたって急性期医療の維持・充実を図り、安全・安心で質の高い医療提供体制の構築に必要であるため、賛成。
議案第87号について、行政機関等の情報連携により利便性向上が期待でき、運用は本人同意のもと進められ、ニーズに添った対応がなされるため、賛成。（公明党 福田佳則）



認定第4号 令和5年度一般会計歳入歳出決算認定について

内容 令和5年度一般会計歳入歳出決算を認定するもの



反対討論

放課後健全育成事業である児童クラブは、児童福祉法で位置付けられた遊び及び生活の場であり、本来の目的から外れた学習支援や習い事などを行うことに違和感がある。また、工事費等に対し負担割合を決めた補助金ではなく、執行に疑問が残る。

解放学級事業は、市が「差別を受けなければならない地域はどこにも存在しない」としながら地域を限定しており、全地域、全児童を対象とすべきである。

新統合病院整備関連事業は、そもそも統合に問題があり事業を進めるべきではなく、多くの市民の願いからも統合すべきでない。

新ごみ処理施設整備事業は、DBO方式による市職員のノウハウ消失や適切な評価に対する疑念、時代に合わせた柔軟な変更への対応等に懸念があることなどから、これら支出の決算について、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

賛成討論

放課後健全育成事業の民間放課後児童クラブ開設に関する補助金は、待機児童解消に向け、国の規定に基づき算出され、事業内容も趣旨を逸脱したものではない。

解放学級事業は、あらゆる差別の解消に向けた学習活動として継続した取組が必要。

新統合病院整備関連事業は、市民の命を将来にわたって守り抜くために必要。

新ごみ処理施設整備事業は、DBO方式によりコスト削減と財政負担の平準化が図れ、時代の状況等に合わせた事前の投資や準備ができる。また、市職員が常駐し、運転管理の確認を行うためノウハウ消失の懸念はないと考える。

財政状況の健全度を示す各比率は、いずれも早期健全化基準を下回っており、引き続き健全な財政運営が行われているため、賛成。

(創志会 幸田安司)

事務執行の適正な運用を求める決議を可決

12月定例会に提案された議案第97号は、議決を得ずに無効な契約が締結されたことにより追認議決を求めた事案であり、議会として、本件所管の市教育委員会だけでなく市執行機関全体に対し、再発防止と事務執行の適正な運用に努めるよう要請する「事務執行の適正な運用を求める決議」が議会運営委員会委員長より提出され、全会一致で可決されました。



事務執行の適正な運用を求める決議（概要）

議案第97号「教師用教科書及び指導書の取得について」（追認）は、教師用教科書及び指導書の取得に関する契約について議決を得ないまま無効な契約が締結されたことにより、追認議決を求めた極めて異例の事案で、契約の相手方に不安や混乱を与えるとともに、議決権を軽視し、市の事務執行に対する市民の信頼を大きく損なうものである。

これらのことから、本件所管の教育委員会に留まらず執行機関全体に対し猛省を促すものであり、今後再びこのような事態を起こさないため、法令遵守の徹底による事務手続きの着実な実施を図るとともに、職員の意識改革と組織全体として実効性のあるチェック体制を確立するなど、再発防止に万全を期し、さらなる事務執行の適正な運用に全力を挙げて早急に取り組むよう、強く求めるものである。

市のお金の使い方を CHECK!

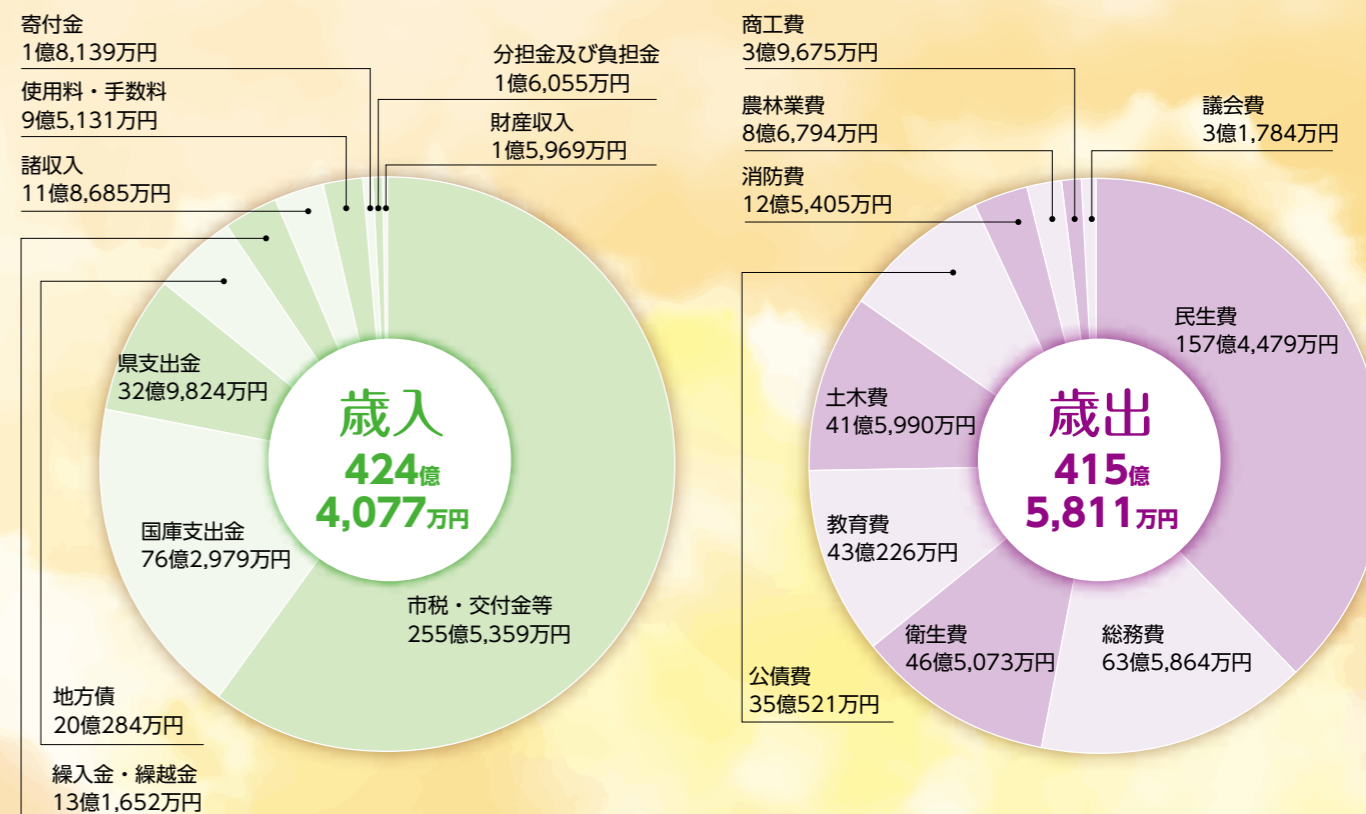
令和5年度 決算を審査しました

市の予算が適正に執行されたかどうか、また、各事業が適正かつ効果的に行われているかどうかを審査する予算決算常任委員会を、企業会計については8月21日・26日・27日、一般会計および特別会計については11月11日から15日に開催しました。

各分科会（経営政策・福祉教育・生活地域分科会）での個別審査および全体会での総括質疑を経て、討論・表決を行いました。

9月定例会において企業会計の決算が認定され、12月定例会において一般会計および特別会計の決算が認定されました。

一般会計の決算状況



特別会計の決算状況

	歳入	歳出
国民健康保険事業	105億8,923万円	105億8,215万円
公営墓地整備事業	2,323万円	2,323万円
駐車場事業	4,198万円	4,160万円
介護保険事業	82億9,825万円	80億8,500万円
後期高齢者医療事業	27億6,899万円	27億1,932万円

企業会計の決算状況

		収入	支出
市民病院事業	収益的	87億5,734万円	94億6,407万円
	資本的	11億1,332万円	16億3,435万円
水道事業	収益的	27億6,957万円	23億5,479万円
	資本的	1億3,910万円	10億8,312万円
下水道事業	収益的	28億7,611万円	26億8,310万円
	資本的	7億2,829万円	12億6,885万円

予算決算常任委員会では、各会計を厳しくチェックし、慎重な審査を行いました。
委員から出された意見の一部を紹介します。



委 = 委員 市 = 市長または市職員

歳入

保育所運営費保護者負担金

- 委 現年度分収納率は100%だが、他の税と違う特徴は。
- 市 現年度のうちに収納することを最大の目的とし、単に督促状を送付するのではなく、未納者には園から直接声掛けを行うなど早期徴収に努めている。



市税全体の収納状況

- 委 滞納繰越分が大幅に減少した理由及び現時点からの減少のための対策は。
- 市 金融機関の預金口座等の照会がオンライン等で可能となり、財産を把握次第、債権の差し押さえ等の滞納処分ができるため、迅速に滞納整理が進むようになった。残りの繰越分約2億1,000万円も調査の上、徴収可能ならば早期に着手し、徴収不可能な場合は早急な判断により執行停止として整理を進めたい。

歳出

千丈寺湖畔再生プロジェクト

- 委 サウンディング型市場調査を行った結果及び今後の方向性は。
- 市 グランピング等のアウトドア事業の可能性が高いことや、インフラ整備等財政支援を期待する声が多いことを把握した。ハード面の整備は多額の財政負担を要するため、まずは、さんだまち博やモニターツアー等のソフト事業を中心に行っていく。今後、大阪・関西万博の機会を通じて千丈寺湖畔の魅力を発信するとともに、広く地域住民の意見を十分に伺い進めていきたい。

病院事業会計への支出金

- 委 繰出金の内容は。また、今後の見込みと減額理由は。
- 市 国が定める繰出基準に基づき、病院費及び高度医療分、救急医療分は保健衛生総務費から支出している。このほか、繰出基準外として病院経営安定化支援等に対する支出分と合わせ、令和5年度は約17億円繰出している。特に基準外繰出は市裁量のため、市当局と市民病院間で慎重協議の上、金額を決定する。減額については、現市民病院建設時の起債償還額^{ていげん}減等によるものである。現状厳しい病院経営への対応と市財政への影響等、バランスを考慮し、最適な支出額を判断していく。

バイオマスプラスチック使用ごみ袋導入

- 委 評価及び今後の課題や改善策は。
- 市 試行期間でのアンケート調査で、破れにくく通常のごみ袋の使用感と大差ないと高評価だったため、令和5年度後半より導入した。製造コストは通常のごみ袋より約3円高く、導入当初は、グリーン・クリーン基金の取り崩しを想定したが、想定より低コストであった。今後、全国的に使用が広がればコストも下がるため、動向に注意し、事業を進めていきたい。



フラワータウン再生に向けた活性化の取組・成果・課題

- 委 大きな成果と課題は。
- 市 新たに市民や民間事業者によるまちづくりを推進し、持続可能なまちづくりとするためにまちづくりプレーヤーの発掘育成事業に取り組み、既にワークショップ等多くの方が参加し、活動されている。課題は活動場所であり、令和6年11月オープンのエキマエアキチを提供していきたい。

緊急消防援助隊活動の今後の課題

- 委 令和6年1月に能登半島地震に伴い派遣されたが、同様の災害発生時に参考となることや課題は。
- 市 水道等のライフラインの復旧の遅れに難しさを感じた。また、孤立集落発生時の対策検討や、被災時の周辺市町を含め県外からの受援への備えが必要である。令和5年度末に受援対応の図上訓練を一度実施したが課題も多く、今後に向けた対策を進めたい。



今後の給食センターのあり方

- 委 今後、給食数の減少に伴い、ゆりのき台給食センターの増設など、給食センターを集約する計画はあるか。
- 市 児童生徒数の今後の動向や、老朽化する両給食センターの状況から、給食センターのあり方等について検討している。しかし、全ての食数を給食提供業者に委託することは難しく、食の安全の面から、学校給食は市の責任により提供すべきものと考えている。今後、市議会とも相談させていただく。



三田市休日応急診療センターの運営

- 委 患者数増や待合場所混雑への対策は。また、小児科医の確保は。
- 市 患者数に応じ、医師を通常の2名体制から3名体制への拡充等で対応している。また、令和5年度に車中でもスマートフォンで会計待ちの順番を確認できるシステムを導入した。小児科医の確保は、市医師会のほか大学等の協力により進めていきたい。

黒字決算の捉え方と今後の取組

- 委 黒字となっている一方、令和5年度当初予算の中で執行できなかった事業もあるが、どう捉えているか。
- 市 黒字額は、翌年度の補正予算財源として一定額必要だが、市民からの税金を当該年度の事業に活用し、市民サービスとして還元することも重要な視点であり、今後もバランスを取った執行に努める。
- 委 健全財政を堅持しているとのことだが、市民が必要とする事業に広く活用されたとは言いがたい。今後の取組は。
- 市 決算は健全である一方、当初予算においては、多額の基金取り崩しを行わなければ予算上の収支均衡が図れなかったため、幅広に十分な予算配分ができなかった。令和7年度予算編成に向けては、予算額と決算額の乖離を改善することで、市民が求める事業への予算配分が可能となるよう、現在、取組を進めている。

- 委 令和6年8月公表の財政構造改善（骨子）に、主な歳入増の取組としてふるさと納税の拡充とあるが、令和4年度と比較し、令和5年度決算では、件数及び金額とも大きく減少する現状をどう捉えているか。
- 市 ふるさと納税の拡充は、歳入確保の取組の一つであるが、令和5年度の寄附額減少を受け、返礼品拡充やSEO対策等の5つの改善策の実施により、増収に向け取り組む。また、財政構造改善では、歳出を減らす取組として、事務事業見直しや予算と決算の乖離の是正等にもしっかりと取り組んでいく。



説明

SEO対策：検索エンジン最適化を意味し、検索エンジンの検索結果で上位に表示させるために施策を行うこと

特別会計

認知症高齢者家族支援

- 委 認知症高齢者家族支援事業と認知症高齢者見守りネットワーク構築事業の今後の展開は。
- 市 家族支援事業はGPS端末により、また、見守りネットワーク構築事業は実証実験として見守りタグと検知器を使用し、行方不明等の認知症高齢者を見守るシステムである。今後、メリット・デメリットを比較検証し、見守り支援の方法を検討する。



企業会計

新型コロナウイルス感染症関連補助金

- 委 公立病院の使命として新型コロナウイルス感染症患者を受け入れているが、第5類感染症移行後、補助金が減少している。全国の公立病院と連携して国に要望できないのか。
- 市 全国自治体病院協議会を通じて、補助金をはじめ、物価及び人件費高騰対策、医師の働き方改革への対応等についても国に要望している。

医師修学資金

- 委 令和4年度約1,100万円から令和5年度約1,700万円と増加しているが、理由と事業効果は。
- 市 貸付対象者の増加によるもので、現在貸付者数は8人である。医師国家試験合格後、医師として市民病院に入職することで貸付金が償還免除となる。医師確保に資する施策と考えている。



水道料金（給水原価）

- 委 令和5年度の1㎡当たり給水原価は169.65円と前年度比1.96円の減となっているが、安くなった要因は。
- 市 動力費などの光熱水費等の減により、令和4年度の24億1,465万円と比べ、令和5年度は23億5,478万円と総費用が減少したことによる。

下水道使用料改定

- 委 令和5年度の実績を踏まえた今後の下水道使用料改定の考え方は。
- 市 令和3年10月実施の下水道使用料の改定により、約3億2,000万円の増収となり収益の改善が図られた。また、汚水処理にかかる費用を使用料でどれだけ賄えているかを示す経費回収率も100%を超え、経営状況は改善傾向にある。今後、物価高騰や社会情勢等を見定めていく必要はあるが、現時点では改定から5年後となる令和8年度における使用料改定の必要性は低いと考えている。



下水道使用料（井戸水使用時）の手続き

- 委 井戸水の使用人数の増減等、利用形態が変更となった場合は下水道使用料に影響が出るが、申告漏れが生じないように周知は図っているか。
- 市 市公式ホームページや市広報誌、上下水道広報誌により広く周知するとともに、使用水量について2か月ごとにお知らせをしている。令和6年度は、井戸水のみ使用の方、水道との併用の方に対し、手続きについてのご案内を送付する予定としている。

三田市議会

報告会

お聞かせください “みなさんの声”

予算審議の報告及び 意見交換会を開催します！

市民のみなさんからの市政に対するご意見・ご提案をいただき、今後の議会活動に活かしたいと考えています。今回はテーマを設定しています。お好きなテーマの回にお越しください。複数回参加可能です。みなさんのご参加をお待ちしています。



4月19日(土)

午前10時開会

- 公共交通
- 農業、里山整備
- 地域課題について
(生活地域常任委員会)

4月20日(日)

午前10時開会

- 子育て支援
- 健康増進
- 学校教育について
(福祉教育常任委員会)

午後1時開会

- 防犯、防災
- 人口減少対策
- 地域医療について
(経営政策常任委員会)

開催場所：市役所6階 委員会室

- *各時間主なテーマを設定していますが、テーマ以外の内容についてもお話しできます。
- *受付は開始時刻の30分前です。所要時間は90分程度を予定しています。
- *手話通訳・要約筆記希望される場合は、事前申込をおねがいします。後日配布・掲載予定のチラシやホームページ等で詳細をお知らせします。(3月下旬予定)

三田市議会報告会 検索



【お問い合わせ】 三田市議会事務局 TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992
Email: gikai_u@city.sanda.lg.jp

令和7年度
予算にかかる

市議会

会派要望

創志会

幸田・今北・小杉・坪之内・福田(秀)・假屋 議員

〈防災防犯対策〉危機管理体制の充実と防犯カメラの増設

〈市民病院の再編統合〉早期に実現

〈市民病院の健全経営〉

人材確保と指定管理への円滑な移行

〈地域医療〉強化と推進

〈人口減少対策〉移住定住施策の充実

〈市民にわかりやすい広報の推進・情報共有〉

市民に対し迅速かつ正確な情報の発信

〈公共施設・公有地の適正管理と処分〉

施設ごとの方針に沿った迅速な対応

〈スポーツ施設の充実・整備〉経年劣化に対応し、

安全で使いやすいスポーツ施設の維持・管理

〈中学校部活動〉円滑な地域移行

〈第3テクノパークの推進〉早期に実現

〈財政健全化〉財政構造改革の推進

〈農業振興と農村保全対策〉持続可能な農業に対する

支援の充実、有害鳥獣被害対策の強化

〈里山の保全管理〉森林環境譲与税の有効活用

〈子育て政策〉放課後児童クラブの充実・

フリースクール等への支援

〈孤独・孤立対策〉相談支援体制と居場所の充実

〈認知症対策の充実〉理解の促進と支援の充実

〈市街化調整区域の活性化〉

早期見直し及び弾力的運用の促進

〈三田駅前市街地再開発事業の早期実現〉

駅前新たなにぎわいのための計画の推進

〈新三田、広野、相野周辺のまちづくり〉

新三田駅や周辺駅に新たなにぎわいの創造

〈公共交通の整備〉交通空白地のない地域の実現

〈県道市道の未整備箇所の早期整備〉

安全・安心できる道路網整備の推進

〈消防団組織の強化〉団員の確保と装備の充実

〈不登校・いじめ対策〉関係機関の連携による不登校と

いじめ対策の充実

〈中学校の再編〉早期に実現

など (全91項目)

市議会では、市が来年度に行う事業等の予算要求の時期に合わせて、市長に対してこれらの予算に市民の意見や要望が反映できるよう、各会派で要望を行っています。その内容の一部をご紹介します。

*各会派の要望を掲載しているため、重複している項目もあります。

三田市 予算要望 検索



さんだの未来

佐貫・中田・関口・小山 議員

〈まちづくり〉

●地域交通への支援強化

●フラワータウン再生事業拡充と

市民への情報開示

●駐車場不足の解消

●街路樹・公園植栽の整備

●公園トイレの洋式化・駒ヶ谷球場の空調整備

●新三田駅にエスカレーターと交番の設置

〈教育〉●不登校児童の別室登校の充実

●フリースクール利用時の費用補助

●三田の特性を生かした魅力ある小中学校を創る

●中学校給食無償化への財源確保

●部活動の地域移行の保護者負担軽減と情報開示

〈福祉〉●医療費無償化への財源確保

●新生児へのオムツのクーポン配布

●インフルエンザ・带状疱疹ワクチン接種助成拡大

〈医療〉●新病院への交通アクセスの充実

●市民病院跡地を地域医療の拠点として拡充

〈農業・産業〉●小規模農家への支援

●農業の担い手不足解消とスマート農業推進

●三田市ならではの起業、産業創出の支援

〈観光〉●神戸市、丹波篠山市との観光連携

●千丈寺湖周辺のアウトドア環境整備

●深田公園の活性化と円形劇場の活用

〈総務・危機管理〉●防犯カメラの増設と保守管理

●女性や子育て世代が働きやすい職場環境づくり

●災害時における情報発信方法の拡充

など (全82項目)



市民とともに

肥後・橋本・山崎・大西(憲) 議員



〈教育環境の充実〉

●学校・家庭・地域・行政が一体となった協力関係の構築

●子どもたちを真ん中に置いた政策を行い、子どもサポーター、指導補助員等の的確な配置で安心安全な教育環境の充実

●給食センターの直営堅持と給食の無償化及びオーガニック食材使用の推進

〈医療・福祉の充実〉

●新市民病院開設に向けた医療・福祉との包括連携ビジョンの描き直しと現市民病院跡地活用推進

〈産業・移住定住・雇用対策〉

●新たな働き手確保のため第三テクノパークの開発促進とクリエイティブ系企業の誘致や、三田で学ぶ学生と企業とのマッチング及び定住促進

●社会福祉従事者(介護・医療・保育現場)の定着のため、市独自の処遇改善で人員体制を確保

〈公共施設・経営管理〉

●スポーツ施設や公共施設の適正な維持管理と市民に納得感のある使用料や手数料の検討

〈公共交通〉

●新市民病院へのアクセス充実と自動運転バスを生かした将来における交通ビジョン策定

など (全40項目)

日本維新の会 三田

福本・長谷川 議員



●SNSを活用した広報委託の強化

●地域経済の振興

●インバウンド促進策の推進

●習い事支援

●次世代育成のための環境向上

●小・中・高校生を対象とした市内バス代補助

●長期休暇中昼食の提供(義務教育児童対象)

●教育現場の業務DX(デジタル化)推進

●スクールカウンセラーおよび支援員の配置拡大

●交通網の強化と整備

●事故防止に向けた安全対策の強化

●有機農業の推進と支援

など (全22項目)

公明党

大西(雅)・福田(佳)・村手 議員



●熱中症対策として民間施設も活用したクールシェアの拡充と設置箇所の周知に努めること

●自転車ヘルメット着用が努力義務化に伴い、着用率向上に向け市の補助事業創設を検討すること

●公民連携の手法を活用したフードロス対策と、貧困家庭への食料支援への取組を検討すること

●地縁団体、各種団体での加入率低下や担い手が不足する中、課題解決に向けた支援に取組むこと

●他市と連携し、魅力ある着地型観光の推進とインバウンドを取り込む取組を進めること

●引きこもり対策として、潜在する対象者の把握や個人の自立に向けた支援への取組を進めること

●認知症に対する理解を深める啓発、本人・家族への居場所づくり等に向けた支援を図ること

●不登校児童生徒に対する支援を強化し、子ども達が安心して学べる環境づくりを推進すること

●地域住民の避難所となる小中学校体育館の空調設置に向け、早期・着実に整備を進めること

など (全162項目)

日本共産党三田市議団

長尾・水元・木村 議員



〈新規の要望〉

●市民病院の再編統合による経済的損失の調査を

●かかりつけ医院が閉院しても医療を守る対策を

●市内に看取りのできる施設を誘致すること

●高齢者運賃助成は全ての公共交通の利用を可能に

●部活動地域移行は地域の合意を得て保護者や生徒に過剰な負担とならないよう配慮すること

●野外活動センターは低料金で利用できるように

●農機具購入補助を中古機器購入にも拡充すること

●水道事業民営化につながる施策導入をしないこと

●植栽管理は全体の刈りこみをすること

〈引き続きの要望〉

●市民病院を他の病院と統合しないこと

●物価高騰対策として実態把握と継続的支援を

●18歳まで子ども医療費を完全無料にすること

●学校給食を無償化すること

●地域の実情に即した交通の導入を行うこと

●有害鳥獣被害の実態把握と対策の拡充をすること

など (全284項目)